

日立金属スイッチングハブ

ApresiaLightFM シリーズ

Ver. 1.07.02

リリースノート

制定・改訂来歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2013年9月20日	新規制定

Ver. 1.07.02 リリース情報(2013年9月)

機能修正について

このバージョンでは、以下の機能を修正しております。

修正

APLFM-10702-RC001

- 内容 ポートのリンク状態変化によってポート情報不定状態 (LinkError) が発生すると、装置再起動となる問題を修正しました。
修正したソフトウェアでは、LinkError が発生すると自動復旧を試みます。自動復旧できない場合には、LinkError ログを出力してポート閉塞します。
- 関連 ApresiaLight シリーズWEB サイト「重要なお知らせ」
・APLFM シリーズにおいてオートネゴシエーション設定をご使用の場合の注意点 (2013/9/20)

既知の問題について

このバージョンでは、以下の既知の問題があります。

既知問題

APLFM-10702-ER001

- 現象 “ save all ” コマンドでログ保存した場合、再起動後の履歴ログに「Unknown! 」と一部誤表示される問題があります。
- 回避策 “ save log ” コマンドによるログ保存では発生しません。

APLFM-10702-ER002

- 現象 パケットストーム制御機能 (Traffic Control) において、ストームを検知した時にカウントダウンタイマーを待たずにポートがシャットダウンされる問題があります。
- 回避策 -

APLFM-10702-ER003

- 現象 コンフィグファイルの TFTP ダウンロードにおいて、ログインバナー情報が上書きされない問題があります。
- 回避策 -

APLFM-10702-ER004

- 現象 ポート説明 (port description) でコメント文字列を入力した場合、設定保存後に再起動すると文字列の前後に『"』が付与される問題があります。
- 回避策 -

APLFM-10702-ER005

現象 MAC 認証数が 60 端末を超えた状態で、さらに無通信によるエージアウトが発生する端末がある場合、設定したエージアウト時間より長く（最大 2 倍）かかる問題があります。

回避策 -

APLFM-10702-ER006

現象 装置起動から約 497 日が経過している状態で、システム日時を設定（time コマンドまたは SNTP 機能）した場合、設定日時よりさらに約 497 日先を誤表示する問題があります。

回避策 約 497 日以内に装置を再起動している場合には、本問題は発生しません。

APLFM-10702-ER007

現象 ベンダー独自トラップにおいて、SNMPv1 generic-trap のタイプ値が enterprise specific(6)で送信するところ unknown(7)で送信する問題があります。

回避策 -

APLFM-10702-ER008

現象 RMON トラップにおいて、risingAlarm 及び fallingAlarm で送信される OID に誤りがあります。

risingAlarm (誤 OID 1.3.6.1.2.1.16.1) (正 OID 1.3.6.1.2.1.16.0.1)

fallingAlarm (誤 OID 1.3.6.1.2.1.16.2) (正 OID 1.3.6.1.2.1.16.0.2)

回避策 -

APLFM-10702-ER009

現象 802.1x 認証において、認証機能を有効にする前にポートモード設定をホストベースからポートベースへ変更すると受信フレームが破棄される場合があります。

回避策 -

APLFM-10702-ER010

現象 WEB 認証において、認証成功している状態で URL に仮想 IP を入力すると再認証ログイン画面が表示される場合があります。なお、認証成功状態は継続されています。

回避策 -

APLFM-10702-ER011

現象 WEB 認証において、SSL セキュリティポートとして設定し IE9 または IE10 ブラウザを使用している場合、ログイン認証画面が表示されない問題があります。

回避策 Windows Update で適用される「KB2585542」セキュリティパッチを除外することで本問題は発生しません。

APLFM-10702-ER012

現象 ループ防止機能とパケットストーム制御機能を併用し、各機能によるシャットダウンが同一ポートで発生した場合、それぞれのリカバリー時間を経過しても自動復旧されない問題があります。事象が発生した場合は、当該ポートのパケットストーム制御機能を一旦無効にすることで手動復旧します。

回避策 ループ防止機能のリカバリー時間をパケットストーム制御機能よりも長く設定した場合には、本事象は発生しません。

APLFM-10500-ER001

現象 10M-half で設定されたポート間をループ接続した場合、フラッピングをしないことがあります。（その結果、ループ接続状態にありながら、ループが発生していないように見えます）

回避策 -

APLFM-10300-ER001

現象 本装置の起動途中に本装置と接続先装置のポートが一時的にリンクアップ・ダウンします。ログにリンクアップ・ダウンの記録が残ります。

回避策 -

適応機種一覧

バージョン	対象機器
1.00.00	ApresiaLightFM124GT-SS
1.01.01	ApresiaLightFM124GT-SS ApresiaLightFM108GT-SS ApresiaLightFM116GT-SS
1.03.00 1.04.00 1.05.00 1.06.00 1.07.00 1.07.01 1.07.02	ApresiaLightFM124GT-SS ApresiaLightFM108GT-SS ApresiaLightFM116GT-SS ApresiaLightFM108GT-PoE ApresiaLightFM116GT-PoE

輸出する際のご注意

本製品や本資料を輸出または再輸出する際には、日本国ならびに輸出先に適用される法令、規制に従い必要な手続きをお取りください。

ご不明な点がございましたら、販売店または当社の営業担当にお問い合わせください。

商標一覧

Apresia は、日立金属株式会社の登録商標です。

Ethernet/イーサネット は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。